

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年 2月22日

事業所名 げんきプラスかなざわ

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			法定基準以上の広いスペースを確保している	
	2 職員の配置数は適切である	○			法定基準以上の職員を配置している	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○			今後足りない部分に関しては必要に応じて対応していきたい
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			定期的な職員会議に加え、午前中の時間等で職員間で意見交換を行っている	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			職員全員がアンケートに目を通し意見交換を行っている	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページで公開している	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○		今後、機会を設けていきたい
適切な 支援の 提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			積極的に研修に参加している	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			アセスメントに限らず日々必要に応じて保護者と対話し計画作成に反映している	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○				
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			チームで行うことで多面的な立案ができるよう努めている	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			チームで行うことで多面的な立案ができるよう努めている	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			平日にはビジョントレーニング、休日、長期休暇にはソーシャルトレーニングを中心に支援している	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○			一人ひとりの状況を考え、両面の支援を行っている	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			支援内容の他、直近の精神状態などについても共有する時間を設けている	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			話し合いの他、記録に残すことであとで振り返れるようにしている	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			日々の記録を徹底することで長期的・短期的な支援の展望につなげている	
関係機関や 保護者との 連携	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			日々の記録を用いながらモニタリングにつなげている	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			広域な支援が行えるよう心掛けている	
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			積極的に学校と連絡をとり情報共有するよう努めている	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		かかりつけの病院・医師を把握している		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		必要に応じて、就学前の関係機関に情報提供を求めるとはありますが、その逆はないので情報共有とは言えないかもしれない		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○			まだそういったケースはないが、そのような場合には情報提供する予定である	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている			○		今後そのような機会を設けていきたい	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			公共の施設等に積極的に出かけることで交流の機会を得ている		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している			○		今後そのような機会を設けていきたい	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			送迎時の会話や、連絡帳を通して日ごろから情報共有に取り組んでいる		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			○		今後の課題として取り組んでいきたい	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			書面を用意し説明を行うようにしている		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			門戸を広く開けておくことで、悩みごとなどを相談しやすい事業所であるよう心掛けています		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			月1回のペースで保護者会を開催している		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情に対しては迅速に対応するよう努めているが、周知に関しては、問題によっては個人情報に関わるので慎重に対応している		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			ブログを通して情報発信を行っている		
	35	個人情報に十分注意している	○			保護者の方と個人情報の取り扱いに関する書面を交わしている		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○					
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○		今後、機会を設けていきたい	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○			保護者への周知を心掛ける	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○			春に訓練を予定している	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			虐待防止を徹底している		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している			○		職員間での共通認識は存在するが、ケースをより具体的にイメージし明文化して保護者への周知につなげたい	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			○		アセスメントにてアレルギーの確認を行い、職員全員がチェックしている	保護者より医師の指示書が提出されたことはないが、今後そのようなケースがあればきちんと対応していきたい
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			事業所内に全員が閲覧できるように置いている		